

平成25年度明るい選挙啓発 ポスターコンクール 優秀賞作品 神奈川県選挙管理委員会



函嶺白百合学園小学校1年
小村のぞ実



海老名市立杉本小学校2年
石田涼菜



函嶺白百合学園小学校3年
小野 晏



横浜市立荏田南小学校4年
後藤彩那



海老名市立有鹿小学校4年
高石 惲穂里



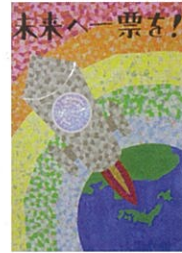
厚木市立荻野小学校5年
小林佳湖



秦野市立大根小学校6年
高本 慧



厚木市立厚木小学校6年
齋藤一葉



厚木市立妻田小学校6年
中野末那



厚木市立戸室小学校6年
矢田美涼



海老名市立大谷小学校6年
吉野 紗来



相模原市立藤野中学校1年
大房 稔也



秦野市立西中学校1年
飯田真帆



秦野市立渋沢中学校1年
広川 あすか



伊勢原市立伊勢原中学校1年
西村 葵



伊勢原市立伊勢原中学校2年
大谷 紗和子



伊勢原市立中沢中学校2年
駒崎海智



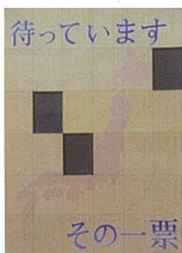
綾瀬市立春日台中学校2年
蕨下 夢可



東海大学付属相模高等学校中部3年
古田彩歌



伊勢原市立伊勢原中学校3年
高田典子



川崎市立川崎総合科学高等学校2年
菅野友香



川崎市立川崎総合科学高等学校2年
西本 紳貴



県立弥栄高等学校2年
齋藤 瑠那



東海大学付属相模高等学校2年
櫻井涼葉



聖園女学院高等学校2年
平川 真矢

あらし

「明るい選挙啓発ポスターコンクール」は、明るい選挙を推進するために、小学校・中学校・高等学校等の児童・生徒の皆さんを対象に、毎年行われています。

今年もたくさんの応募があり、しかも力作ぞろいでした。そのため選考が難しく、審査員も審査に当たり大変苦労しました。応募された皆さん、御協力いただいた先生方に深く感謝します。

これからも、一人でも多くの皆さんが、政治や選挙に興味を持って、応募してくださることを期待しています。

応募状況

今年度は、224校から、2,835点の応募がありました。

学校	年度	21	22	23	24	25
小学校		1,576	1,713	1,911	1,562	1,645
中学校		928	747	1,169	931	1,140
高等学校		43	9	59	43	50
合計		2,547	2,469	3,139	2,536	2,835

審査結果

平成25年10月3日に行われた県の審査会において、小学生11名、中学生9名、高校生5名の計25名の方が優秀賞を受賞されたほか、小学生26名、中学生17名、高校生2名の作品が佳作となりました。

審査員

忽滑谷 章（財団法人神奈川産業振興センターデザイン専門相談員）

橋井 香苗（神奈川県教育局指導部高校教育企画課主幹兼指導主事）

三浦 潤子（元神奈川県明るい選挙推進協議会監事）

神奈川県選挙管理委員会委員

神奈川県選挙管理委員会書記長

審査講評 審査員代表 忽滑谷 章

今年9月、7年後のオリンピックを東京で開催することが決まりました。開催地を決めるIOC総会での日本のプレゼンテーションは、開催国や都市の考えを表現したレベルの高いもので、その手法や伝える技術が話題になっています。

ひとからひとへ伝えるにはいろいろなやり方があります。

学校などで転校してきた人とお友達になりたいと思うとき、あなたはどんなことをしますか。まず自分の自己紹介をして、そのお友達のことをより深く知ろうとしますね。ポスターもそんな「伝える」方法のひとつです。このポスターコンクールのテーマである「明るい選挙」は、国の発展に尽くす代表（議員）を民主的な方法で公正に選ぶ選挙の実施を呼びかけるものです。

オリンピック招致のプレゼンテーションも、開催を望む都市の考えや情熱を世界中に約100人いる委員によく理解してもらうためのものです。日本は優れた文化、技術、おもてなしの心、礼儀作法など日本にしかない特徴を映像や言葉で伝えたのです。そして選ばれました。

明るい選挙ポスターの審査も、ただ力強さ、目立つ色や形、言葉だけを見るのではなく、たった1枚の限られたスペースしかない紙の上に、いかに効果的な表現、細やかで丁寧な表現、新しい工夫（アイデア）を表しているか、みなさんがどんなことを考え、努力しているのか、そして一瞬で読み取れるかなどを見ながら70点を選びました。さらに、その中から優秀賞の25点を中央審査に送りました。もちろん、画・デザイン力、言葉の表現などの技術力も大切ですが、作者（みなさん）が何を伝えようとしているのかをいつも注意して、新しい工夫を見落とさないように審査しています。「あっ」というような新しい表現を探します。他の人が気づかないような工夫に関心があります。今回もそんな作品がたくさん集まり、受賞者のみなさんが入選しました。

今年、公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞に見事選ばれたのは3人でした。「輝く未来へ あなたの一票」の齋藤一葉さん（小6）は、自然とともに発展する街。僕や私と働く人々を素直なタッチで描いています。「選挙へいざ参らん」の駒崎海智さん（中2）は、歌舞伎の「暫」の「見得」を使って、「いざ参らん」と力強く呼びかけることに成功しています。「あなたが望む 未来は？」の櫻井涼葉さん（高2）は、現実にはあり得ませんが、瞳孔の中に未来像が描かれ、リアルな画の調子で力強く訴える作品になっています。

来年も、さらに素晴らしい作品を期待しています。